



# あひるぐみだより

尚徳福祉会 生麦保育園 平成29年3月



段々と暖かい日が増え、春の訪れを感じますね。散歩に出掛けると風の暖かさや咲き始めた梅の花等、沢山の春を子ども達と見つける事が出来ました。あひる組での生活もあと残りわずかとなりました。たくさん遊んで、たくさん笑って、進級を迎えたいと思います。



## ☆節分☆

節分の日にあひる組も新聞紙で作った豆で豆まきをしました。乳児クラスに来た鬼は大丈夫だった子ども、テラスから見学した幼児クラスに登場した鬼の迫力には涙が出た子どもが多かったです。節分から日にちはたちましたが、あひる組ではまだ豆まきブームが続いています(笑)節分の日には保育者にしがみついていた子ども「せんせーオニになって」とリクエストして皆で鬼をやっつけたり、指で角を作り自分が鬼になってみたりと、“角があつてとにかくすごかった”という強烈なイメージをみんなでも共有して、節分オニごっこを楽しんでいます。



## ☆お散歩☆

暖かくなり、お散歩の楽しい季節となりました。往復で歩ける距離には個人差があるので、最近はグループに分けて行き先を変える日も作り、無理なく楽しく歩けるようにしています。手を繋いで歩くのもだんだんと上手になってきました。河川敷は子ども達のお気に入りですがその道中や、ぐると園周辺を歩く「歩き散歩」もお気に入りです。犬や猫に出会ったり、小さなお花を見つけたり…何度も「ねえみて!」の声が聞こえ、たくさんの発見をしています。

## ☆お店屋さんごっこ☆

日に幼児クラスがお店屋さんごっこを行い、あひる組はお客さんになって遊びに行きました。電車に乗って、到着した所にはお寿司屋・魚屋・おもちゃ屋に写真館とたくさんのお店がありました。はじめは熱気あふれる雰囲気にはビックリした様子でしたが、年長さんが優しく声を掛けてくれ、楽しく参加する事が出来ました。袋いっぱいのお土産をもらい部屋に戻ってからも「たのしかったね」と声が聞かれました。異年齢で交流を楽しむ良い機会となりました。



一年を振り返って



4月からスタートし最初は泣き声が響いてお部屋も、今では子ども達同士がやりとりし、お話しを楽しむ声でいっぱいになりました。走ったり、ジャンプしたり、身体を大きく使えるようになったのと同時に指先を使ってじっくりと遊べるようになったりと身体面の成長はもちろんですが、自分の気持ちをはっきりとして様々な表情を見せてくれるようになり「〇〇がしたい」と態度や言葉で主張出来るようにもなりました。この1年で子ども達一人ひとりが心も体も大きく成長したと感じています。子ども達と過ごした1年は楽しくあつという間で、成長を見守れた事、本当に嬉しく思います。保護者の皆様には様々な面でご理解ご協力を頂きましてありがとうございました。今後もお子さんのさらなる成長を楽しみにしています。一年間ありがとうございました。